シート　19　　第　　学年　　組　　番　名前

※　解答は、《解答らん》に書きましょう。

郷土の偉人について調べている西田さんは、道後温泉を全国的に有名にした人物といわれている伊佐庭如矢の伝記を読みました。

今から百二十年も昔に、将来、観光の時代が来ることを見ぬいた人物がいました。道後湯之町の初代町長、伊佐庭如矢です。①如矢は、郷土を愛する心と情熱で、強く反対する町民を説得し、こうかな道後温泉本館を建て、いで湯の町として全国に知られる道後の土台を築きました。

一八九〇（明治二十三）年に町長になった如矢は、温泉のすべての建物の改築を計画しました。当時の道後温泉の建物はせまく、そのうえ、とても古くなっていました。また、関西から汽船が乗り入れるようになり、入浴客が急に増えていました。

如矢は、まず、それまで無料だった「養生湯」という温泉を改築することと、改築のための資金をかせぐために、養生湯を有料化することを提案しました。

養生湯の利用者は、※おくんろさんや町民です。たちまち反対の声が上がりました。しかし、如矢は、代わりにいらなくなった材木を使った無料の温泉や、病気の治りょうをする人向けの温泉を造り、町民たちを納得させました。

次に、本館「神の湯」の改築に取りかかりました。工事にかかる費用は、全部で十三万五千円あまり。当時の小学校の先生の初めての給料が、約八円の時代です。常識をはるかにこえた、ばく大な費用に、町民はおどろきました。反対運動が激しくなり、如矢の命をねらう者さえ現れました。

しかし、如矢はひるみませんでした。

「道後に、世間の目を向けさせるためには、本館の改築が必要だ。」

と、町民をねばり強く説得しました。

その、道後の将来を見通した考えと熱意に、最初は反対していた人々も心を打たれ、一転して資金を提供するようになりました。如矢も、全財産をなげうちました。そして、旧松山藩おかかえの大工・坂本又八郎を※とりょうにむかえ、二十か月の工事期間をかけて、ついに長さ十八メートル、はば六・四メートル、三階建ての立派な建物を完成させました。

現在の道後温泉本館↑

如矢は、②客の足の確保も忘れませんでした。道後鉄道株式会社を設立し、道後につながる鉄道を走らせて、客を温泉へ運びました。また、周辺には公園を整備し、のちに坊っちゃん団子となる「湯ざらし団子」も発案しました。如矢の先を見通す力のおかげで、百二十年後の今も、道後の町は栄えています。

※ おくんろさん…四国八十八か所をまわる人のこと。

※ とうりょう…ある集団（ここでは大工）の長。

道後温泉本館にある如矢の像

一　――線部②「客の足」の「足」と同じ意味で「足」という言葉を使っている文を、次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

**ア**　デパートのショーウインドーの前で足を止める。

**イ**　この村では、人々の足としてロバが使われている。

**ウ**　二十キロ歩行に参加して、足が棒になる。

**エ**　たくさんの荷物が届き、足のふみ場もない。

二　――線部①「如矢は、郷土を愛する心と…」の文が、文章全体の中で果たす役割について考えます。［　　］に当てはまる言葉を、**十五字以上、二十字以内**にまとめて書きましょう。

新聞の前文（リード）のように、［　　］。

三　西田さんは、次の書き出しで、伊佐庭如矢をしょうかいする文章を書くことにしました。［　　］に当てはまる言葉をあとの条件に合わせて書きましょう。

伊佐庭如矢は、［　　］人です。

**〈条件〉**

○　「**道後**」という言葉を使って書くこと。

○　**十五字以上、二十字以内**にまとめて書くこと。

【111ページ】

## シート　19　解答らん

第　　学年　　組　　番　名前

一

二

↓ここから書き出すこと。

15

20

三

↓ここから書き出すこと。

15

20

## シート　19　正答例

一　イ

二

（例）

如失がしたことを短くまとめている（16字）

この文を読めば、内容がだいたい分かる（18字）

三

（例）

将来を見ぬき、道後温泉を立派にした（17字）

反対する町民を説得し、道後温泉を改築した（20字）

道後の町が栄える土台を築き上げた（16字）

鉄道を走らせて、道後の町に観光客を集めた（20字）